

ケミクロンG

(CHEMICHLON G)

構造式 $\text{Ca}(\text{ClO})_2$
(次亜塩素酸カルシウム)
calcium hypochlorite

性状 類白色水溶性顆粒

有効成分 カルシウムハイポクロライト 70.0% (有効塩素)

包装 500g ポリ瓶×24本

■特長

1. 本剤はあらゆる病原菌に対し強い殺菌力を持っており、農業用資材や用水の消毒にすばらしい効果を発揮します。
2. 使用方法が簡単でしかも薬剤はすみやかに分解消失します。

■使用方法

(2020年11月25日現在)

適用場所	対象	水10ℓ当り 使用量	希釈倍数 (倍)	使用方法
農業資材	稲育苗箱、育苗トレイ・ポット、 植木鉢、果実類貯蔵箱、温室用資材 農具、収穫用かご、催芽箱等消毒	10g	1,000	10分間浸漬
	プラスチック類の資材(稲育苗箱、 育苗トレイ・ポット、果実類貯蔵箱、 植木鉢)および育苗用敷紙(クラ パピー等)の消毒	20g	500	瞬間浸漬または ジョウロ散布
	保温むしろの消毒(箱育苗用)	2g	5,000	ジョウロ散布
	種いも切断刀の消毒	1kg	10	5秒間浸漬
礫耕栽培	病原菌類に汚染した礫の消毒	10～5g	1,000～ 2,000	水深3cmとし所定 薬量を表面に均一 に散粒
灌漑用水 浸種用水	用水の消毒	0.2～0.1g	50,000～ 100,000	用水中に散粒溶解 し灌水する

△ 効果・薬害などの注意

1. 本剤を水に溶解した時若干残渣がみられる場合がありますが、有効成分は十分に溶け出しています。容器はプラスチックのものを使用してください。
2. 金属類や木箱に使用した場合、必ずその後水洗してください。
3. 育苗トレイ・ポットを消毒する場合、薬害(生育障害)を生じるおそれがあるので、本剤処理後は必ず水洗してください。
4. 資材消毒に使用する本剤の希釈液は、使用時毎に調製して速やかに使用してください。
5. 浸漬の場合、薬液の汚れが甚だしくなったら新しく調製し直してください。
6. 礫耕栽培の場合、礫中の有機物を取り除き、表面を平らにし、水を礫面上3cmにし、全体の水量(全礫体積の30%を水量と計算)に対し1,000～2,000倍になるよう薬量を均一に散粒、軽く表層を攪拌してください。処理は夕方行い、一夜放置後翌朝礫層をよく攪拌し排水し、十分水洗を行ってください。
7. 灌漑用水の消毒は規定濃度を厳守し、濃厚液が生育中の作物にかからないようにしてください。
8. 薬液を衣類につけると漂白されるのでご注意ください。
9. 本剤は強力酸化剤で、不用意に扱くと危険です。取扱い時の注意事項をよく守ってください。

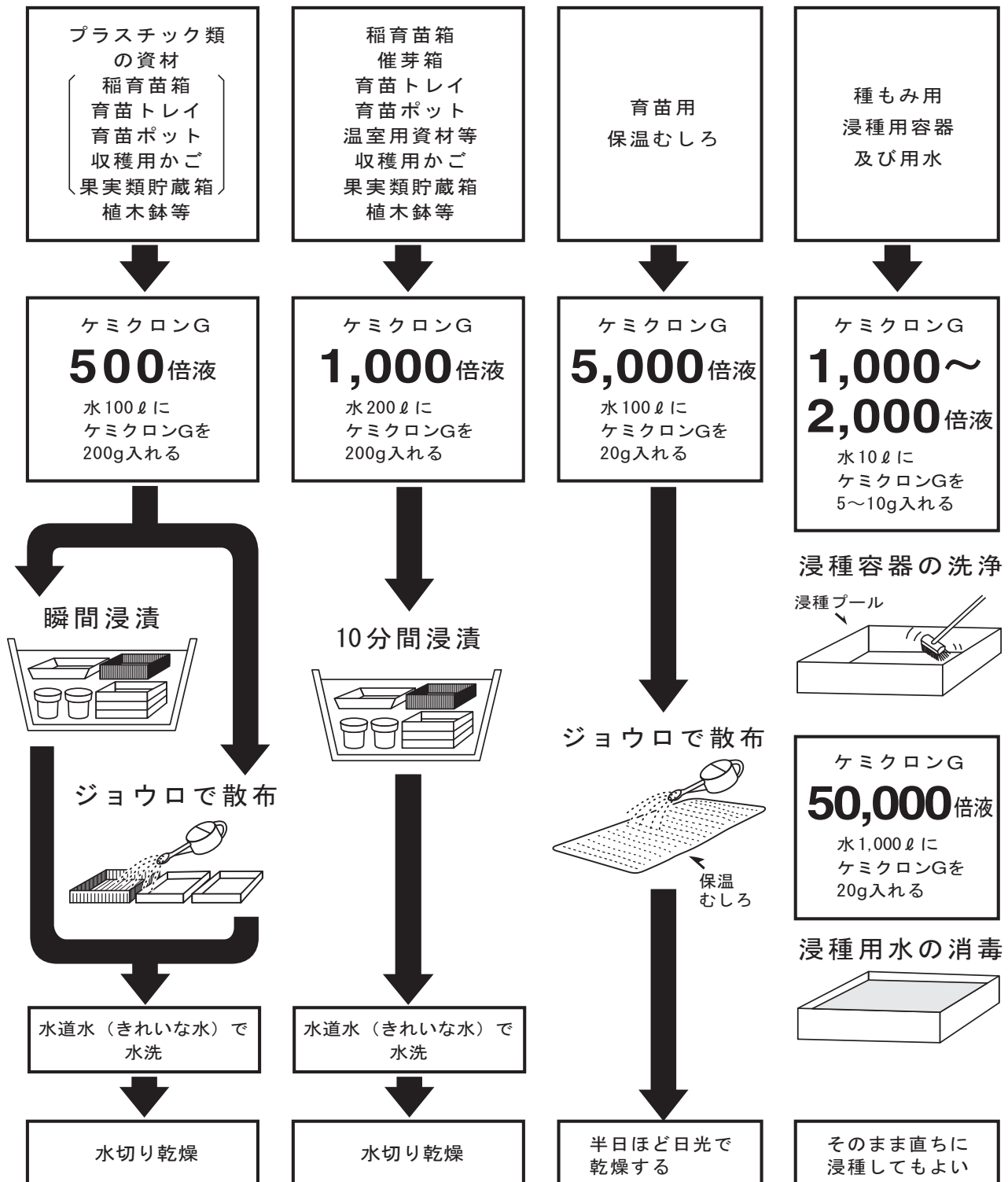
水産動植物への影響：水産動植物に対し毒性が強いため、使用した器具・容器の洗浄水、使用残りの薬剤及び空ビンなどは水に流さず、水産動植物に影響を及ぼさないよう適切に処理してください。

保管：湿気をきらうので密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

〈備考〉

- 詳しい使い方は、次ページを参照してください。

農業資材の消毒方法



◎作業をする時は、必ずゴム手袋をしてください。
もし直接皮ふに薬や濃厚液がついたときは、すぐ水でよく洗ってください。

ケミクロン取扱時の注意

ケミクロンGは、次亜塩素酸カルシウムを主成分とし、有効塩素は70%あります。ケミクロンGは、強力な酸化剤であり、農業用資材の消毒、灌漑用水の浄化などの用途をもってありますが、薬剤自体の化学的性質から、不用意に取扱いますと発火を誘発するおそれがあります。本剤を取扱う際は以下の注意事項をよく読み、性質をよく理解した上で慎重に取扱われますようお願いいたします。

1. ケミクロンの性質

- (1) 正常の状態では保管されている場合、安定です。
- (2) 水が混入すると、水和反応を起こして発熱し温度が上昇し、場合によっては急激な分解を誘発することがあります。
- (3) 薬剤自体は可燃性物質ではありませんが、機械油、グリス、ペンキ、シンナー、グリセリンなどや還元性物質（硫黄、木炭、ヒドロサルファイトなど）と接触すると、酸化発熱し、場合によっては、急激な分解、発火を誘発することがあります。
- (4) 各種農薬や化学肥料と接触すると、酸化発熱し、急激な分解発火を誘発します。

2. 保管・取扱上の注意

- (1) 直射日光が当たる所や小児の手の届く所には、保管しないでください。
- (2) 暖房装置、加温装置、モーター等の付近で温度が異常に高くなるおそれがある所には絶対保管しないでください。（長期間の保存には、30℃以下が望ましい。）
- (3) 雨がかかる所や水はけの悪い所に保管しないでください。
- (4) 積置き中や積載中は、荷くずれしないようきちんと積み、振動や揺れで荷くずれしないようバンドがけなど行なってください。
- (5) 吸湿をさけるため、密閉して冷暗所に保管してください。
- (6) フォークリフトの爪や突起物などで突きささないでください。
- (7) 内燃機関等の排気ガスを、近くから直接包装容器にあてないでください。
- (8) 荷扱い中、落下させたり強い衝撃を与えるような取扱いを行なわないでください。
- (9) 雨や水がかかる状況での荷扱いは行なわないでください。
- (10) 煙草の火など、火気は絶対に近づけないでください。
- (11) 機械油、グリス、ペンキ、シンナー、食用油、グリセリン、揮発油などの物質、硫黄、木炭、ヒドロサルファイトなど還元性物質、硫酸、塩酸、有機酸などの酸、その他各種農薬、肥料などと直接接触させないでください。
- (12) 本剤と、過マンガン酸カリ及びその他の薬剤と、混用・混合または接触する使用、取扱いは、絶対にさけてください。
- (13) 計量する時は、陶器・プラスチックまたはガラス製の、きれいな乾いた容器を使用してください。
- (14) 本剤は他の容器への詰め替えをさけてください。
- (15) 上記の取扱注意を怠ると、場合によっては急速な分解または発火のおそれがあるので、十分注意してください。
- (16) 取扱いの際は、眼・鼻・口へ入らないよう、注意してください。
- (17) 衣類に付着したら直ちに払い落とすか水洗いをしてください。（漂白）
- (18) ごみ収集車、ごみ箱・ごみ捨て場には絶対捨てないでください。
- (19) 使用する際は、製品に記載の注意事項をよく守ってください。
- (20) 水産動植物に影響があるので、使用した残液を捨てる時には必ず次のように処置してください。
 - 少量の液は、付近に影響を及ぼさない地面に、穴を掘って捨ててください。
 - 大量の場合、ハイポ（チオ硫酸ソーダ）または亜硫酸ソーダ（日曹ノンクロエース）で、有効成分が残らないように中和してから徐々に排水してください。
 - 直射日光に1～2日さらし、有効成分の消失を確認してから徐々に排水してください。
 - いずれの場合でも、排水が養魚池等に入らないよう十分注意してください。

3. 異常発生時の処置

- (1) 包装容器が破損し、製品がこぼれた場合
 - こぼれた本剤は、ごみ収集車・ごみ箱・ごみ捨て場等には絶対捨てないでください。
 - こぼれた製品を乾いたほうきなどできれいにはき集め、速やかに多量の水（10倍以上）に溶解した後、ハイポまたは亜硫酸ソーダで中和してから、付近に問題のない場所を選んで地中に穴を掘って流しこんでください。（中和する時は、本剤に対し、ハイポの場合は重量比1：1の割合で、亜硫酸ソーダで中和する時は重量比1：2でお使いください）

- 破損した包装容器は、破損部を乾いた当て紙（ポリエチレンか塩ビのフィルム）をした上から、接着テープで穴をふさいだのち、包装容器全体をポリエチレン袋に入れ、密封して荷主に速やかに連絡してください。
- (2) 発熱・発火した場合
 - 多量の水をかけて消火してください。

4. 衛生上の応急処置

- (1) 皮ふについた場合、長時間放置しないで、水で洗い流してください。
- (2) 眼に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗眼し、眼科医の手当を受けてください。
- (3) 誤って飲みこんだ時は、大量の水または牛乳をのみ、次にマグネシア乳剤または植物性油、あるいは生卵を飲んで、直ちに医師の手当を受けてください。

5. 参考事項

- (1) 処理液中の有効成分検知方法
 - DPD 法遊離残留塩素測定器……当社発売
遊離残留塩素濃度に比例して桃赤色に呈色するので、標準色と比色測定する。